

第 61 回 水工学に関する夏期研修会

主催：公益社団法人 土木学会

期日：2026 年 8 月 27 日（木）～8 月 28 日（金）

（A、B コース並行開催）

場所：金沢大学角間キャンパス自然科学本館・大講義棟（対面＋録画によるオンデマンド）

A コース（河川・水文）、B コース（海岸・港湾）

テーマ：頻発・激甚化する流域・沿岸災害に関する調査・解析と防災を考える



本研修会は土木学会の CPD
（継続教育）プログラムとして
認定されています。

■ 8 月 27 日（木）

時間	A コース（河川・水文）	B コース（海岸・港湾）
9:00～ 10:30	佐山敬洋（京都大学）：水災害予測を目的とした降雨流出・洪水氾濫の統合解析	
10:45～ 12:15	知花武佳（政策研究大学院大学）：流域の特徴を俯瞰した流域治水に向けて	
13:15～ 14:45	柏田仁（東京理科大学）：Social Sensing による激甚水害時の氾濫流動実態解明～あらゆる関係者の協働によるモニタリングの萌芽～	鳴原良典（防衛大学校）：非地震性津波ハザード評価の現状と課題～海底地すべり津波の解析から実務への適用まで～
15:00～ 16:30	武田誠（中部大学）：都市域における浸水過程と車両および人の動きの数値解析	高川智博（港湾空港技術研究所）：アジョイント津波解析

■ 8 月 28 日（金）

時間	A コース（河川・水文）	B コース（海岸・港湾）
9:00～ 10:30	越村俊一（東北大学）：海岸・海洋デジタルツインの開発と展望	
10:45～ 12:15	豊田将也（豊橋技術科学大学）：高潮・洪水による複合災害解析とその適用例	
13:15～ 14:45	呉修一（富山県立大学）：流域治水の現状と課題～コンパクトシティや都市計画との融合に向けて～	二宮順一（金沢大学）：爆弾低気圧による沿岸災害とその将来変化予測
15:00～ 16:30	久田嘉章（工学院大学）：土木・建築連携による水害・土砂災害対策の取り組み	中條壮大（大阪公立大学）：多数の台風シナリオを用いた災害リスク評価に関する課題と試み

備考：両日とも講師との交流会（昼食 経費別途必要）を開催予定。申込後別途連絡。

受講料：現地 一般 16,000 円，学生・院生 10,000 円

オンデマンド 一般 18,000 円，学生・院生 12,000 円

申込方法：土木学会 HP(<https://www.jsce.or.jp/events/form/>)の末尾に以下の数字を入力ください。

A コース：（対面）2326021,（オンデマンド）2326023

B コース：（対面）2326022,（オンデマンド）2326024

問合せ先：土木学会研究事業課 TEL：03-3355-3559（担当：杉野詞音）

詳細情報（夏期研修会ホームページ）：<https://committees.jsce.or.jp/hydraulic/node/262>